

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	交流・環境	25年度事業・施策評価結果		責任者	港営部 港営課長
施策名	良好な港湾環境の形成	成果	コスト		
事務事業名	ゴミの不法投棄・放置自動車対策の推進			連絡先	052-654-7871
目的	対象(誰・何を)	臨港地区			事業期間
意図(どういう状態にしたいか)	不法投棄されがたい環境を整える。			平成13年度～継続	
概要	ゴミの不法投棄や放置自動車の削減・抑制対策として、臨港地区のパトロールや一斉清掃を行い、投棄や放置をしがたい環境を整えます。			根拠法令等	港湾法、名古屋港管理組合放置自動車の発生防止及び適正な処理に関する条例
活動内容	引き続き、ゴミの不法投棄や放置自動車の削減・抑制対策に努めます。			実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
				関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	6,604	8,062	7,136	7,267	事業費は放置自動車とごみの処理金額の合計です。
人件費	千円	3,486	3,504	3,524	3,505	
合計	千円	10,090	11,566	10,660	10,772	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	中間目標	30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
西部地区一斉清掃(回)	目標	-	-	2		2	西部地区は、不法投棄されやすいため、地元企業及び自治体の協力のもと、年2回の一斉清掃を実施することで、啓発に努めます。	
	実績	2	2	2				
(単年度管理型)	事業進捗状況(26年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
放置自動車処分台数(台)	目標	-	-	0		0	放置自動車の処分台数がゼロになることを目指す。	
	実績	3	1	2				
(単年度管理型)	事業進捗状況(26年度)			目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	西部地区一斉清掃については目標を達成しており、今後も継続していきます。放置自動車については、対策を開始した当初と比べて著しく減少し、処分台数もほぼゼロに近づいています。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○ 港湾法・条例で定められた本組合の業務です。						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○ 清掃・監視・啓発等の活動を地域及び事業者と一体となって一斉清掃を行い、また、放置自動車対策推進キャンペーンを実施することで放置自動車が増加するなど、良好な港湾環境の形成に貢献しています。						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○ 一斉清掃は、地域及び事業者の協力を得て実施しており、また、放置自動車は、所有者等が判明した場合には、撤去するよう勧告し、移動、保管、売却及び処分等に要した費用を請求するが、所有者等が判明しなかった場合には、本組合が適正に処分を行うようにしている。						

4 ACTION(取組)

課題	27年度以降の取組
不法投棄や放置自動車の撲滅には至っておらず、継続した取組が不可欠です。	港湾環境づくりには、ゴミの不法投棄対策及び放置自動車の削減・抑制対策は不可欠であり、取組を維持していく必要があります。定期的な臨港地区のパトロール、県民や事業者への啓蒙活動等、投棄や放置をしがたい環境を整えることで、削減・抑制対策に努めます。